

申請事業名	新たな地域コミュニティをきずく事業
解決しようとする地域課題	<p>A校区では、少子高齢化や核家族化が進む中、世代間や住民同士の交流を深める場面が不足していることから、地域のつながりが希薄となり、地域コミュニティ力が低下しています。現在、地域活動の中心となっているのはシニア世代の男性であります。将来、活動の担い手となる子どもやその親達（子育て世帯）、また、女性の自主的な参加が地域コミュニティの活性化、新たな地域コミュニティの形成に必要となっています。</p>
実施期間	<p>第Ⅰ部：平成28年10月23日（日） 第Ⅱ部：平成28年11月27日（日） 第Ⅲ部：平成28年12月4日（日）</p>
事業の内容 ・実施場所 ・対象者 ・実施方法 ・実施体制	<p>【実施場所】 堺市立A小学校 体育館（第Ⅰ部、第Ⅱ部）及びいこいの森会館（第Ⅲ部）</p> <p>【対象者】 A校区の全住民（子どもから高齢者までの全世代）</p> <p>【実施方法】 （第Ⅰ部）人形劇及び講演の開催（H28.10.23 午後1時より実施） 主に子どもとその親（子育て世帯）対象にした人形劇を実施。（日常生活や共同活動などを通して、連帯感や共同意識、信頼関係を築き、どんな困難な事象にもみんなで力を合わせて解決していくストーリー） そして、世界がたった100人だったらと仮定した内容で、子どもから一人住まいの高齢者や障がいのある人など様々な状況にある人達が互いに助け合い、地域コミュニティを形成していくための講演をクイズ形式を採り入れたゲームをまじえて実施。 （第Ⅱ部）危機管理アドバイザーによる講演会（H28.11.27 午後1時より実施） 昨今、日本各地で起こっている自然災害等危機的事象に対して、女性が地域活動を行っていくため、女性の視点に立った講演会を開催。 （第Ⅲ部）意見交換会の開催とこれからの取組みについて（H28.12.4 午前10時30分より実施） 第Ⅰ部、第Ⅱ部の事業実施から参加者が学んだ知識に基づき、地域活動への意見を集約、子どもやその親達（子育て世帯）、また女性の視点を反映した地域活動を行っていくことを目的にワークショップを開催する。これら一連の事業を通して、将来、A校区の地域活動を担う人材を育み、新たな地域コミュニティをきずき上げる。</p> <p>【実施体制】 A校区まちづくり協議会が実施主体とし、本事業の広報から運営までを行う。また、地域の子どもや子育て世帯、女性からの運営協力を呼びかけ、自主的に参加してもらう。</p>
事業目的・効果 (1) 独創性や先進性の観点 （従来の地域活動とは異なった視点や形態など、新規性や工夫・アイデアがあるか。）	<p>現在、シニア世代の男性が地域活動の中心であるが、子どもやその親達（子育て世帯）、女性が活動に参加することで、従来の活動形態にない新たな視点に立った活動、取組みが期待できる。</p>

平成28年度「応募型地域まちづくり支援事業」応募事業（A協議会）

<p>(2) 実行性の観点 (住民の理解と協力を得ることができ、地域全体を巻き込んだ事業となっているか。事業効果が期待できるなど、完成度の高い内容となっているか。)</p>	<p>第Ⅰ部、第Ⅱ部の学んだ知識をもって、第Ⅲ部の意見交換会にて参加した子育て世帯や女性から意見を取り入れ、自治連、福祉委員会、女性団体、学校、PTA、子ども会などと連携を図り、今後の地域活動への目標を定め、新たな地域コミュニティを形成することが期待できる。</p>
<p>(3) 公益性の観点 (不特定多数の市民の利益増進に寄与するなど、公益性の高い事業となっているか。)</p>	<p>子どもやその親達（子育て世帯）、また、女性の参加により、地域全体による連帯感、共同意識の高まりが期待できることから、不特定多数の市民の利益増進に寄与し公益性の高い事業である。</p>
<p>(4) アピールしたい点</p>	<p>女性が地域活動に自主的に参加し、女性の視点からの意見を取り入れることによって、今までに無かった活動が生まれ、また将来、地域活動の担い手となる子どもやその親達（子育て世帯）が次世代の地域活動の担い手になり、新たな地域コミュニティを形成することが期待できる。</p>
<p>(5) その他特記事項</p>	<p>地域活動に子どもやその親達（子育て世帯）、女性が参加することにより、地域全体が新たな視点に立って、主体性を持ちながら地域課題の解決へと取り組むことができる。</p>
<p>予 算</p>	<p>977,680 円</p>
<p>(1) 収入内訳</p>	<p>堺市補助金 977,680 円</p>
<p>(2) 支出内訳</p>	<p>①委託料 436,180 (アドバイザー講師講演料及び講師の交通費等 250,480/人形劇公演料及び交通費等 185,700) ②需用費 120,000 (パンフ、ポスター等の印刷・インク・コピー用紙・文具・事務用品 110,000/レーザーポインタ 10,000) ③役務費 12,000 (第Ⅰ部 人形劇・講演@30 円×200 人 6,000/第Ⅱ部危機管理アドバイザー講演会@30 円×200 人 6,000) ④備品購入費 409,500 (マイク・アンプ・チューナーセット 249,500/プロジェクター・スクリーンセット 160,000)</p>